

施策番号	1203		
施策名	外国籍市民等がくらしやすく、活躍できる多文化が息づくまちづくりの推進		
概要	外国籍市民等に対して多言語によるコミュニケーションの支援や生活支援を行うとともに、市民が外国籍市民と交流し様々な国の文化にふれる機会を充実させ、外国籍市民等がくらしやすく活躍できる、多文化が息づくまちとする。		
担当局・部室	総合企画局・国際化推進室	共管局・部室	総合企画局・総合政策室
上位政策	12 国際化		
施策に関する 主な分野別計画等	京都市国際化推進プラン		

施策の評価

1 客観指標評価

指標名		26年度	27年度	28年度評価					
				前回値	最新値	目標値	達成度	評価	指標の ウエイト
1	京都市における外国籍の住民基本台帳登録者数(留学生等除く)(人)	b	a	12,248	11,539	12,248	94.2%	b	1.00
2	留学生数(人)	b	b	6,822	6,998	8,185	85.5%	b	1.00
3	-	-	-	-	-	-	-	-	
4	-	-	-	-	-	-	-	-	
5	-	-	-	-	-	-	-	-	
6	-	-	-	-	-	-	-	-	
		b	a	客観指標総合評価				b	

2 市民生活実感評価 *この評価は、毎年5月頃に実施している京都市市民生活実感調査のアンケート結果を基にしています。

設問		26年度	27年度	28年度回答					
				そう思う	どちらかと言う そう思う	どちらとも言 えない	どちらか 言う そう 思わない	そう思 わない	有効回答 者数
1	国籍、民族、文化等が違っていても互いに理解し合い、ともにいきいきとくらし るまちになっている。	c	c	40 8.3%	168 34.9%	178 37.0%	64 13.3%	31 6.4%	481
2	-	-	-						-
3	-	-	-						-
4	-	-	-						-
5	-	-	-						-
		c	c	市民生活実感調査総合評価					c

3 総合評価(客観指標総合評価+市民生活実感調査総合評価)

C	施策の目的がそこそこ達成されている					27 年度	B
	重み付け	☐ 客観指標	b	☒ 市民の実感	c		
(重み付けの理由) 多文化共生に対する評価は、市民の理解を得ているかが重視されるべきであると考え、市民生活実感調査総合評価を重視する。						26 年度	C
(原因分析) 客観指標総合評価 ☒ b評価以上であり、施策の効果が客観指標に表れている。 ☐ c評価以下であり、次の原因が考えられる。							
(原因分析) 市民生活実感調査総合評価 ☐ b評価以上であり、施策の効果が市民の実感に表れている。 ☒ c評価以下であり、次の原因が考えられる。 ・外国籍市民等が身近な地域社会で活躍し、多文化が定着していると実感していただけるような取組を実施しているものの、そうした取組による成果が市民の方全般には及んでいないため、市民生活実感評価の結果に反映されていないと考えられる。							

今後の方向性の検討

<この施策を構成する事務事業>

	事業名	事業費の状況(千円)		28年度事務事業 評価結果における 目標達成度評価	担当局
		27年度 決算額	28年度 予算額		
1	総合的な留学生支援の推進	17,713	18,294	良い	総合企画局
2	多文化共生施策の総合的な推進	43,849	39,210	良い	総合企画局
3					
4					
5					
6					
7					
8					
9					
10					
11					
12					
13					
14					
15					

*予算額には人件費及び施設管理に係る経費を含みます。

<今後の方向性>

- ・外国籍市民や留学生数のさらなる増加を目指して、生活支援やコミュニケーション支援の取組の一層の充実を図り、誰もがくらしやすいまちづくりを進める。
- ・多文化共生に対する市民の実感を高めるため、市民が外国の文化や言語に触れ合う機会を提供する「京都市国際文化市民交流促進サポート事業」や京都市内の大学に在籍する留学生を市内の小学校や中学校に派遣し、国際理解につなげるプログラム「P I C N I K」の取組を充実させる。

施策名	1203	外国籍市民等がくらしやすく、活躍できる多文化が息づくまちづくりの推進				
指標名	京都市における外国籍の住民基本台帳登録者数（留学生等除く）（人）					
担当課	国際化推進室		連絡先	2 2 2 - 3 0 7 2		
1 指標の説明						
市内に在住する外国籍市民の数						
2 指標の意味				3 算出方法・出典等		
魅力的な国際都市の実現に向けた外国籍市民の暮らしやすさを示す指標				出典：事業担当課調べ（京都市における外国籍の住民基本台帳登録者数（留学生等除く））		
4 数値						
	前回数値 26年度	最新数値 27年度	推移	目標値		
				数値	根拠	達成度
数値	12,248	11,539	709人減	12,248	平成24年度以降の最高値	94.2%
	全国順位	中長期目標				備考
		数値	目標年次	達成度	根拠	
数値						
5 評価基準			6 基準説明		7 評価結果	
最新数値の目標値に対する達成度が a：100%以上 b：80%以上～100%未満 c：60%以上～80%未満 d：40%以上～60%未満 e：40%未満			目標値を達成できればa評価とし、以下20%刻みで基準を設定した。 (参考) 平成24年度 11,905人 平成25年度 11,847人		26 27 28 b a b	

指標名	留学生数（人）					
担当課	総合政策室		連絡先	2 2 2 - 3 0 3 2		
1 指標の説明						
京都市内に本部を置く大学・大学院・短期大学に在学する留学生数						
2 指標の意味				3 算出方法・出典等		
魅力的な国際都市の実現に向けた外国人留学生の暮らしやすさと学びやすさを示す指標				出典：京都地域留学生交流推進協議会		
4 数値						
	前回数値 26年度	最新数値 27年度	推移	目標値		
				数値	根拠	達成度
数値	6,822	6,998	176人増	8,185	平成32年度目標値から各年度の目標を等差的に設定	85.5%
	全国順位	中長期目標				備考
		数値	目標年次	達成度	根拠	
数値		15,000人	32年度	46.7%	京プラン実施計画第2ステージ	
5 評価基準			6 基準説明		7 評価結果	
最新数値の目標値に対する達成度が a：100%以上 b：80%以上～100%未満 c：60%以上～80%未満 d：40%以上～60%未満 e：40%未満			目標値を達成できればa評価とし、以下20%刻みで基準を設定した。		26 27 28 b b b	